

回胴倒錯者

- PACHISLO FREAK -

研究

結局初スロットではそのボーナス後に少し回してからヤメて、プラス千円。勝ったものの落胆の方が大きかった。それはスロットというモノが考えていたものとは全くの別モノであり、「狙って揃うもの」ではなかったからだ。目を瞑ついても揃うときは揃うしいくら狙っても揃わないときは揃わないのだ。全くの運のみで勝敗が決まるギャンブル、私はそれを非常に毛嫌いしていた。スロットというモノをそう結論付けたが、途中で立ち寄ったコンビニにて、その考えが覆されることになる。

お弁当の購入目的で立ち寄ったコンビニ。なんとなくスロット攻略雑誌を覗いてみる。今日打った「ニューパルサー」の記事もたくさん掲載されていた。そこには興味深い内容が載っていた。それが「設定」である。パチンコは釘で出玉調整。そしてスロットには釘がない分、出玉を「設定」と呼ばれるもので調整しているのか。なるほどなるほど、パチンコは千円あたりの回転数によって優良台の目安とし、スロットはボーナス確率が設定の目安となる。すなわち、たくさん当たっている台、たくさん出ている台が良い設定の証ということになるのか。まだまだスロットには攻略の余地がありそうだ。目の前が少し明るくなり、内心ワクワクしながら家路を辿ったのであった。そう、明日は土曜日で学校が休みなのだ。

熟練者

朝の目覚めも、天気も良好。今日は家から近いP店に向かうことにする。P店はスロット64台、パチンコ300台程度の併設店だ。も

ちろんこれは、これから通うことを考慮して決めたのだ。

開店時間直前に到着。すでに30人前後のお客さんが並んでいる。私も最後尾に並ぶと間もなく開店した。皆がいつせいに走りだしたが私と、ある人物はゆっくりと歩いていった。その人は赤と白の帽子を深くかぶり、ジャージにサンダル姿だった。「きつこの人も狙い台などないのだから。」そんなことを考えながらスロットコーナーに歩いていった。

スロットコーナーにはM店にもあった「ニューパルサー」が設置されていた。この台を打とうと思つたが、ひととき目を引く台があった。それがユニバーサル販売(現アルゼ)の「フリッパ13」だ(イルカがモチーフ)。この台は、やっぱりなことにリーチ目目がガセるようになっていて、正確にいうとリーチ目がガセるのではなく、1/128でガセのリーチ目が出るようになっていた。あとゲーム性のひとつとして、JACゲーム中にイルカを揃えると「キユイッ キユイッ」と泣き声がするのが特徴的だった。

「よし、今日はイルカさんだ!」パネルに描かれたイルカの目が妙に可愛かったのでそう決めたのだ。早速遊技開始。もちろん全開適当押し。揃うときは揃うし、揃わないときは揃わないからだ。「あ、それ入ってんで」右側からそんな声が聞こえた。帽子を脱いでいた為、すぐには気づかなかったが例のジャージサングルの人だ。ルール上では右上がりに「7BAR」となっている。入っている。なにそれ? キョトンとしてみると「それは鉄板や。間違いない。777を狙ってみな」そう言われ、7を狙ってみる。そして見事にBIGボーナスゲット! 揃うときは適当に押しでも揃うと思つていたが、今は確かに狙ったら揃った。そしてこの人は何故か次に揃うことを知っていた。たまたま聞いてみる。なぜ揃うと判ったのですか? 「彼はいう「リーチ目やからや」:

イルカ揃いはパチスロ初の0枚役。当初はボーナスが始まらないので困惑したプレイヤーも多かった。



腑に落ちない表情をしていたが、こちらが初心者と分かったのか、ジャージサンダル(以下J氏)は詳しく教えてくれた。

J氏「簡単に言えば、リーチ目というものは、ボーナス成立を打ち手に知らせるモノで、即ちボーナスである」

私「……?」

J氏「君はルールがズルつとスベるのは分かるかな?」

私「狙ったところで止まらず、ズレて違うところで止まってしまうような状態ですか?」

J氏「そう、それを「スベリ」という。そしてそのスベリは最大で4コマまでと決まっている。各リールに7絵柄、BAR絵柄はせいぜい2つ。リールは全体で21コマもある。4コマ滑つても7まで届かない所なんかいくらでもある。そういう所で押ししたときに「リーチ目」が出る。もちろん毎回7を狙つていればリーチ目は出すが、そのまま並ぶ。即ちこの場合は777がリーチ目であり、ボーナスであるということやな。」

私「なるほど、リーチ目か。そういうえば雑誌に載っていたような……」

J氏「スロットの基本ルールは「レバRONで毎回抽選」「リールは最大4コマまでスベる」この2つやな。ストップボタンを押す行動はレバRONで抽選された役が何なの

かを確認する作業。とりあえずこの2つだけ分かっていれば問題はない」

私「わかりました、ありがとうございます」

スロットというモノが少しずつ見えてきた。思つていたものは徐々にかけ離れてきてはいたが、分かってきた喜びの方が遙かに大きかった。

この日は勝ち負けなど気にせず、怪しげな目が出る度にJ氏に聞きまくつていた。それ以降もP店でJ氏に会う機会は多くなり、いつしか一緒にご飯を食べる仲になつていった。名前は小西。年は私より7つ上だった。下の名前は今も知らない。だから「三さん」と呼んでいた。そのやさしく華麗な打ち方と、その目押し力、そして洞察力、わたしは見ているだけで楽しかった。そして三さんは大抵勝つていく。はじめて打つような全く知らない機種でも、自分なりに楽しい打ち方を発見し、そしてリーチ目もすぐに見抜く。ある機種で、三さんが隣の私に声をかけた。「そのべ

A氏プロフィール

三重県出身。三重の高校を卒業後、進学のため大阪へ。学業よりもパチスロに専念してしまいお決まりコースの大学中退。中退後3年間はパチスロで生計を立てる。その後サラリーマンになるも副収入はパチスロで。結婚のため三重に戻りホール店員となる。現在は知識と経験を生かし某店で設定師として手腕を振るっている。目押しレベルはスイカの種まで直視できるほどの異常っぷり。



ホールの楽屋裏 其の参

◆設定変更後、設定打ち直しパーティー◆

今回は、設定変更後についてお話します。はたして設定変更を行えば、その台はどのような状態になるのでしょうか? 雑誌などで「リセットがかかれば設定変更の可能性大」というのをよく目にします。ここではそういう難しいことではなく、もっと簡単に設定変更を見抜く方法を紹介します。例えば、一部雑誌にも紹介されている、「サミー系列の朝「リールがブルリン」」は有名ですね。これは、設定変更を行うと、変更後1ゲームのみリールがスムーズに回らず、若干ブルツとした感じで回り出すという現象です。この現象はBIG終了後にも現れるので、サミー系の機種を打つ時は一度BIG後の1ゲーム目を注意して確認してみてください。

オリンピック系ではどうでしょうか。時期、南国育ちはパライトの向きで設定変更が分かる、ということが話題になりました。これは正確に言うところ設定変更でパライトが回り、向きも変わるの事実ですが、設定変更のやり方によってはパライトは回らず、向きも変わらないのです。その代わり設定確認をしないと、必ず回り向きも変わります。私はいつも、もしかしたら明日店長が設定発表を行うかもしれないと思つているので、高設定を入れる時は、必ず設定確認を

決心したのはこの時だったかもしれない。

◆次回予告◆
A氏の師である三さん、あの大ヒットマシンの登場後、つらんと姿を消してしまおう!

その理由は? そしてそのマシンとは? 次回「別れ」をうご期待!

れが大前提になります。これはサミー系の台、他多数の台でも使用可能です。

まだまだ多数の変更後の秘密はありますが、文字数の関係で続きは次回にさせていただきます。そしてここで本場に言いたいのは、以上のお話はホール側も知つている場合が多く、対策されている可能性が高いことを念頭において頂きたい、ということです。朝「リール」の並べであるホールは見ただ目からないように対策している。つて事かも知れませんが、また後者の小役を揃えておく方法も、設定変更後わざわざ同じように小役を揃えておくなどして、ちょっとイタズラじみたことをしている場合もあります。実際私はしたことがありません。朝、ある男性はその台(前日設定6)を据え置きと勘違いし即ゲット。しばらく粘つていましたが、首を傾げて違う台に移っていました。その時の彼、すいません。

自分の通つているホールはどうか? そのクセをつかみ、ぜひ高設定をゲットしてください。

今回は、ちょっとマニアックな設定変更の見破り方と、どんな時に設定を打ち直すのか?をお話します。是非ご期待ください。